

スポーツ実施者獲得（公益財団法人滝沢市体育協会チャグチャグスポーツクラブ） ～学校部活動や地域スポーツ団体との連携を通じた会員の拡大～



活動類型①スポーツ関連団体・クラブにおけるスポーツ実施者獲得

取組概要

- 会員向けのクラブ活動や非会員向けのスポーツ教室の提供を通じて、近隣市町村住民も含めて「いつでもどこでもだれもが」生涯を通じてスポーツに親しめる環境を構築。
- 従来の総合型地域スポーツクラブの対象であった小学生以下や高齢者に加え、学校部活動との連携を推進し、中高生の会員も増やしている。
- また、別団体として活動していた地域スポーツ団体もクラブに取り込み、幅広いプログラムの提供を可能にしている。

実施体制、運営状況等

- 滝沢市体育協会が運営。
- 会員向けのクラブ活動や非会員向けのスポーツ教室は、体育協会が指定管理を受託している施設（滝沢市内に計4ヶ所）で実施。体育協会内に指導者不在の種目については、種目別の協会から指導者の派遣を受けるなど、外部団体と連携しながら、多様なプログラムを提供。
- 市内中学校の部活動と連携。具体的には、中学校部活動（硬式テニス、バドミントン、ラグビー）の校外部活動として認定され、活動の場・練習環境を提供。

運営費用：会員年会費、教室参加料

運営資源：職員4名（滝沢市体育協会職員）、アルバイト1名、指導者96名、予算：5,648千円（令和2年度）、会員数：393名（2020年12月1日時点）

実施期間：2002年～

取組の狙いとポイント

スポーツ実施の現状

- 地域の子供たちが小学生時にチャグチャグスポーツクラブなど地域のスポーツクラブで実施していた種目と地域の中学校の部活動の種目が一致していないため、中学進学後にやりたい種目の練習・大会に参加できる環境がなかった。（例：硬式テニス）
- 単一のスポーツクラブでは提供可能な種目数に限界があり、地域住民が望む種目に取り組めるスポーツ環境がなかった。

学校部活動や地域のスポーツ団体との連携により地域住民が多様なスポーツを楽しめる環境を提供。

学校部活動等との連携

- 市内の滝沢二中との協議の末、チャグチャグスポーツクラブの活動を校外部活動と位置づけ硬式テニス部が大会等に出られるような仕組みを整えた。クラブからは練習場所の提供と指導者の派遣を実施。同様の支援を通じて滝沢南中のバドミントン、ラグビーなどの部活動とも連携をしている。

他の活動団体の巻き込み

- 滝沢市体育協会に加盟している各種目別協会の協力で指導者の派遣を受け、専門的な指導を望むニーズに対応。
- 元々は別団体として活動していた団体が、活動場所確保や認知度向上などの観点からチャグスポに合流。

取組効果

- 会員393名のうち、部活動等と連携したプログラムに参加している中学生は93名となっている。
- プログラム数・活動場所が増えることで住民への露出が増え、クラブの活動の知名度が高まり、小中学生の会員数の増加につながった。

今後の展開、取組方針

- 教員が専門種目以外の顧問にならざるを得ない現状・慢性的な高齢化など、中学校部活動を取り巻く諸課題を解決し、質の高い指導者の派遣など総合型クラブが担うべき役割を果たす。
- 料理教室を通じた栄養学習のプログラム等の要望も出ており、今後はスポーツ以外の活動にも取組を広げていくことを検討。